

第三次 東松山市観光振興基本計画 概要版

(令和8～12年度)

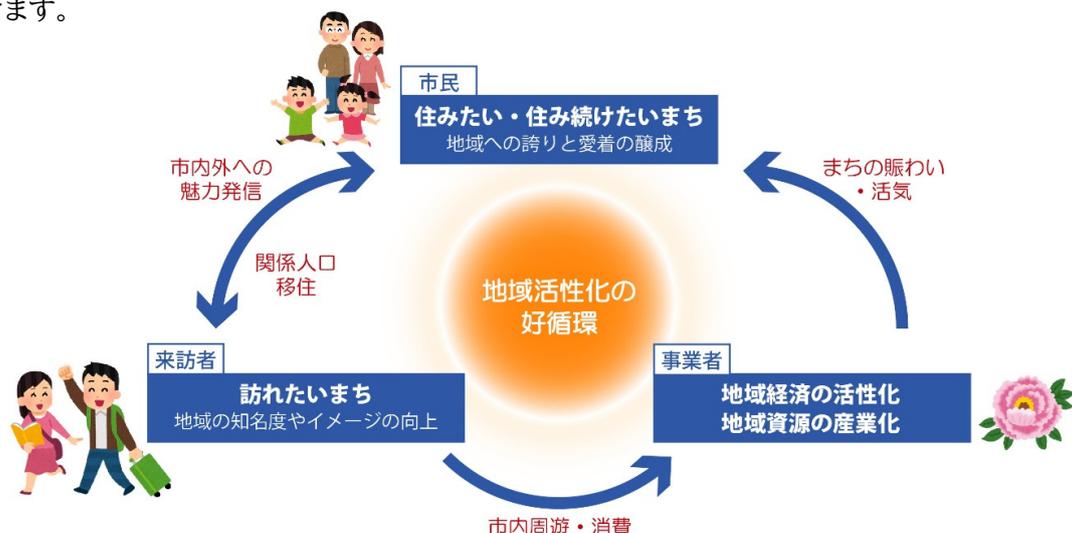
何度訪れても楽しいまち東松山
～市民一人ひとりが楽しんで参加する観光まちづくり～

計画の目的と位置づけ

東松山市では、平成27年度に「東松山市観光振興基本計画」を策定して以降、市内施設の充実や、特産品の認知度向上に向けた取組等、計画に基づいた様々な取組を行ってきました。第二次計画を策定した令和2年度は、まさに新型コロナウイルス感染症の影響が顕著になり始めたタイミングで、観光面でも大きな影響を受けましたが、近隣地域で観光を楽しむマイクロツーリズムの普及やアウトドア活動への需要の高まり、またSNSやAIなど観光分野におけるデジタル技術の活用・導入も進んでいます。このような社会状況の変化や、第二次計画に基づく取組の評価を踏まえ、観光を通じた地域活性化や、市民と来訪者の両方が魅力を感じる地域づくりをさらに進めていくことを目的に、「第三次東松山市観光振興基本計画」を策定します。

◆東松山市が観光振興に取り組む理由

本市は、季節毎に楽しめる自然や多様な歴史・文化資源が点在し、都心からのアクセスにも恵まれています。市民や来訪者が繰り返し楽しめる「東松山らしい観光まちづくり(※)」を推進することで、地域の活性化につなげていきます。



※ 地域社会が主体となって、地域のあらゆる資源を活用し、交流を促進することで、まちの魅力を高める活動

1 東松山市を取り巻く観光の現状と課題

◆観光に関わる社会動向

- ① 回復する観光需要と観光ニーズの多様化：
新型コロナウイルス感染症の影響からの回復／マイクロツーリズム、アウトドア活動等の需要の高まり
- ② インバウンド需要の高まり：
円安等の影響による訪日外国人旅行者数の増加／旅行目的の多様化／コト消費へのニーズの高まり
- ③ 「持続可能な観光」に対する世界的潮流：サステナブルツーリズムに対する関心の高まり
- ④ 観光分野におけるデジタル技術の活用：SNSを通じた観光体験の拡散・共有／観光DXの推進
- ⑤ 文化観光の推進：文化資源を地域振興や観光など様々な形で活用する機運の高まり

◆東松山観光の特徴・魅力

東松山市には、季節ごとに楽しめる豊かな自然が多く存在し、様々な年代の歴史・文化資源が点在しています。また、花とウォーキングのまちとしても知られ、東松山名物「やきとり」などのグルメも魅力です。一方、東松山市への来訪は市内・隣接市町が中心で、埼玉県こども動物自然公園、箭弓稲荷神社が2大資源となっています(各種調査結果より把握)。

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ◆ 季節ごとの豊かな自然 | 東松山ぼたん園、くらかけ清流の郷、物見山公園 等 |
| ◆ 様々な年代の歴史・文化資源 | 箭弓稲荷神社、岩殿観音正法寺、馬頭観音の絵馬市 等 |
| ◆ 自然や歴史・文化を通じた体験・学び | 埼玉県こども動物自然公園、化石と自然の体験館 等 |
| ◆ 花とウォーキングのまち | 日本スリーデーマーチ、市内各所のウォーキングコース 等 |
| ◆ 東松山ならではのグルメ | 東松山名物「やきとり」、ひがしまつやまプライド認定品 等 |



◆第二次計画の進捗状況と評価

第二次計画では、4つの基本施策に基づき各種取組を行ってきましたが、以下のような課題が残っています。

<基本施策の達成度の総括(課題)>

基本施策1 地域資源を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひがしまつやまプライド」認定品の更なる認知度向上、事業者間連携 ・恒常的な体験プログラム等の創出
基本施策2 観光資源をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・東松山・比企広域観光推進協議会や東武東上線沿線サミットの取組からの誘客 ・周遊につながる情報提供や観光資源間の連携
基本施策3 観光情報を届ける	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマや目的、ターゲットを明確にした効果的な発信 ・広域連携による束になった情報発信の強化
基本施策4 地元観光を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が市内観光を楽しむ機会づくりの強化 ・市民が感じる魅力の発信に関わる取組強化

◆観光振興に向けて「解決」「克服」すべき課題

これまでの取組の成果を引き継ぎつつ、各種調査結果等を踏まえると、今後、より一層の観光振興を図る上で「解決」または「克服」すべき課題としては以下の5つが挙げられます。

課題1 【イメージ】	「訪れて楽しめるまち」としてのイメージが弱い
課題2 【マーケット】	近隣エリアからの来訪にとどまっている
課題3 【資源活用】	ポテンシャルのある観光資源を活かしきれていない
課題4 【周遊行動】	特定の施設目的の来訪が多く、周遊行動が少ない
課題5 【活性化】	東松山市の「顔」となる駅前や商店街に活気がない

2 東松山観光の目標と基本方針

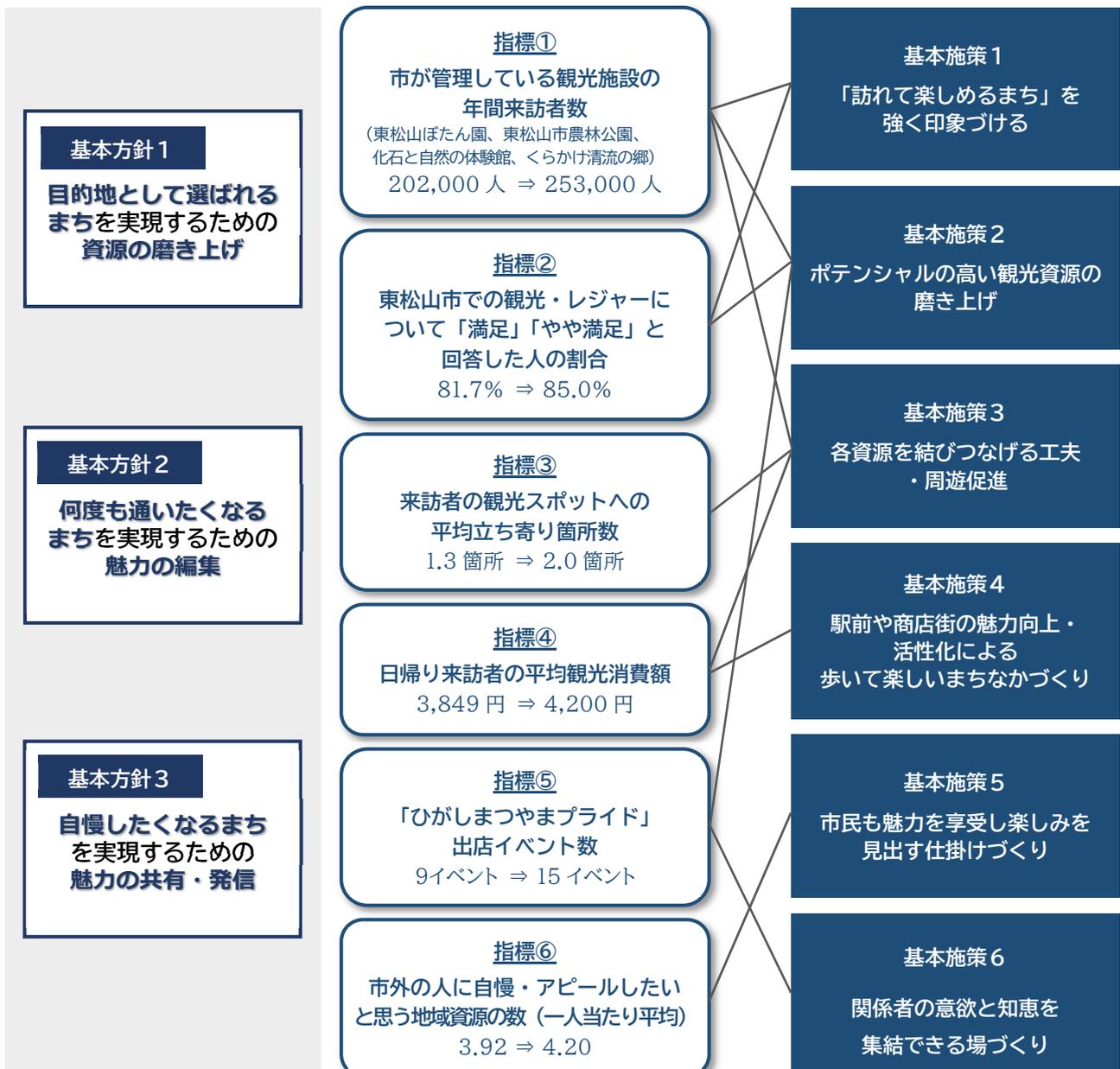
◆東松山観光の目標

市内には誰もが知っているような著名な資源や、強い集客力をもつ資源は存在しないものの、四季折々に楽しめる豊かな自然や、様々な時代の歴史・文化資源など、東松山でしか出会うことのできない魅力的な資源がたくさん存在します。しかし、実際は、市民や近隣地域の人による特定施設へのリピートが中心で、周遊や滞在が少ないのが現状です。東松山の魅力ある資源を観光に活かしていくためには、より多くの人に東松山市に行ってみてほしいと思ってもらえるようにするとともに、訪れるたびに新たな発見があるような「何度訪れても楽しいまち」を目指して観光振興を進めることが求められます。

何度訪れても楽しいまち東松山

～市民一人ひとりが楽しんで参加する観光まちづくり～

◆基本方針と評価指標



3 施策体系と取組内容

目標の実現に向け、以下の6つの基本施策に基づき10の施策と30の取組を位置づけます。

基本施策	施策	取組
基本施策 1 「訪れて楽しめるまち」を強く印象づける	施策 ① 効果的なプロモーションと情報発信	1) 「遊びに行っておもしろいまち東松山」を強く印象づけるプロモーションの実施
		2) 魅力ある資源を活かした観光スタイル・滞在プランの提案・情報発信
		3) SNSの有効活用
	施策 ② 広域連携によるイメージ強化	4) 比企地域の広域連携によるプロモーションの継続実施
		5) 東武東上線沿線地域の広域連携によるプロモーションの継続実施
基本施策 2 ポテンシャルの高い観光資源の磨き上げ	施策 ③ 「ウォーキングのまち」のイメージの観光活用	6) 安全・快適に歩ける環境整備
		7) 日本スリーデーマーチを活かした東松山市の観光の魅力発信
		8) 歩いて楽しむための情報整備
	施策 ④ 東松山の「食・物産」のPR・観光活用	9) 東松山グルメに関する情報ガイドの作成と情報発信
		10) 「ひがしまつやまプライド」認定品の積極的な観光活用
	施策 ⑤ 「歴史・文化資源」の観光活用	11) 東松山市の歴史を学ぶ機会と場づくり
		12) 箭弓稲荷神社や岩殿観音等の文化財や伝統文化の保存と活用
	施策 ⑥ 既存観光施設のさらなる活用と魅力発信	13) 既存観光施設のさらなる魅力向上
		14) 豊かな自然を守るための市民協働による環境整備と体験プログラム等の実施
		15) 化石と自然の体験館や貴重な化石の今後の活用方針の検討
16) いなほてらすの観光情報発信拠点としての活用		

基本施策	施策	取組
基本施策 3 各資源を結びつなげる工夫・周遊促進	施策 ⑦ 周遊環境整備と周遊の動機付け	17) 駅と観光資源及び観光資源間をつなぐ二次交通対策の検討 18) 観光資源への誘導強化 19) 周遊マップの作成や周遊特典の検討・実施 20) 自転車の活用・サイクルツーリズムの推進 21) 東武鉄道株式会社と連携した商品等の開発 22) 再訪につながるイベント情報等の提供・発信
基本施策 4 駅前や商店街の魅力向上・活性化による歩いて楽しいまちなかづくり	施策 ⑧ まちなかの賑わい創出	6) 安全・快適に歩ける環境整備【再掲】 23) 「歩きたくなるまちなか」への磨き上げ 24) まちなかの賑わい創出に向けた集客イベント等の開催支援
基本施策 5 市民も魅力を享受し楽しみを見出す仕掛けづくり	施策 ⑨ 市民に向けた情報発信と共有	25) 広報紙等を活用した市民に向けた観光情報の発信 26) 市民が東松山の魅力に触れる機会と観光まちづくりへの参加の場づくり 27) 市民による魅力や資源の情報発信の仕組みづくり
基本施策 6 関係者の意欲と知恵を集結できる場づくり	施策 ⑩ 観光の担い手の育成と連携	28) 観光ガイドの育成 29) 観光振興における大学との連携強化 30) 観光関連事業者や関係者間の交流・意見交換の場の設定

取組の先にある 市民・来訪者の声

東松山って週末レジャーを楽しむのにちょうど良いまちだよな。



東松山って動物園だけじゃないんだね。

東松山っていつ来てもいろいろな野菜や果物の収穫体験ができるから楽しい！



去年引っ越してきたけど、こんな素敵なおところがあるなんて知らなかった。今度友達に教えてあげよう！



◆リーディング プロジェクト

第三次計画で特に力点を置いて取り組む2つのリーディングプロジェクトを位置づけます。

リーディングプロジェクト ①

動物園を中心とした「自然レクリエーションゾーン」創出プロジェクト ～市民協働による環境整備と年間を通じた体験プログラムづくり～

市民との協働により、豊かな自然環境の保全活動を推進するとともに、観光協会や民間団体、関連部署等と連携し、ネイチャーガイドが同行する自然観察や昆虫観察、木の実等を活用したネイチャークラフト、草木染体験など、年間を通じて楽しめる体験プログラムを充実させます。また、動物園だけではない当該エリアの楽しみ方(滞在プラン)を広く発信するとともに、Eバイクを含めたレンタサイクルサービスを充実させるなどし、豊かな自然の中でサイクリングを楽しめる環境を整えることで、東松山市の「自然レクリエーションゾーン」として、魅力向上を図ります。



市民の森

取組の 具例

- 市民の森等における市民との協働による環境保全活動の推進
- 豊かな自然環境を活かした年間を通じた体験プログラムの検討・実施
- 一般の人でも安全・快適にサイクリングを楽しめるような環境整備
- 「自然レクリエーションゾーン」の魅力や楽しみ方に関する情報発信

リーディングプロジェクト ②

「花」と「農」を楽しむ北部観光強化プロジェクト ～観光を楽しむための施設間連携と二次交通対策～

東松山ぼたん園については、一年を通じて様々な楽しみ方を提供できるような対策を検討、実施するとともに、北部エリアの魅力資源を組み合わせた多様な周遊プランを検討・設定し、北部エリアの楽しみ方を強く発信します。また、ぼたん園や農林公園において、相互の観光情報をタイムリーに提供できるような情報発信方法を検討します。さらに、オンデマンド交通やシェアカー、それらをつなぐMaaSの導入等、観光スポット間をつなぐ観光客の利便性向上のための二次交通サービスの導入について検討するとともに、各観光資源への案内誘導を強化します。



東松山市農林公園

取組の 具例

- ぼたん園と農林公園等の連携による、1年を通じて様々な楽しみ方を提供できるような対策の検討・実施
- 各観光施設における、周遊を誘発するようなタイムリーな情報発信方法の検討・実施
- 観光客の利便性向上のための二次交通サービスの導入検討
- 各観光資源への誘導強化（わかりやすい案内標識等の設置）

4 推進体制と取組の進め方

- 市(行政)や観光協会だけでなく、商工会や民間事業者、市民それぞれが主体的に果たすべき役割を認識し、相互に連携・協働しながら本計画を推進していきます。
- 本計画に基づく取組の進捗や目標の達成状況について、PDCAサイクルに基づいた管理を行います。また、進捗管理を、各取組主体、取組主体を補佐する組織と連携して行うことで、観光振興の実現に向けた効果的な取組につなげていきます。